

# 会 議 録

## 1 会議名

平成29年度第2回上越市青少年健全育成センター運営協議会

## 2 議事（公開・非公開の別）

- (1) 青少年健全育成センター事業の進捗状況（4月～9月）（公開）
- (2) 若者支援事業の進捗状況（公開）
- (3) 情報交換（公開）
- (4) その他（公開）

## 3 開催日時

平成29年10月17日（火）午後2時から3時25分まで

## 4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟中会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：小松 敦、井部佐恵子、山本条太郎、杉本正彦、藤井清比古、小山貞榮、古川美也子、岩片喜代子、鈴木真理子、二ノ宮善明、吉岡智宣
- ・事務局：上越市青少年健全育成センター 八島幹雄所長、山崎光隆指導員

## 8 発言の内容

《議 事》

- (1) 青少年健全育成センター事業の進捗状況（4月～9月）（公開）

※事務局より説明（資料 P3～P12）

質疑なし

- (2) 若者支援事業の進捗状況（公開）

※事務局より説明（資料 P13・14）

吉岡委員：若者の「居場所」として「北出丸」と書かれている。私の認識では、「北出

丸」を借りて、えちご若者元気塾を開講していると捉えている。正式な名称を確認して記載した方がいいのではないかと思うがどうか。

事務局：指摘のとおりである。藤田理事長に確認して正式な名称にしたい。

吉岡委員：妙高市が民生委員・児童委員の協力を得てひきこもりの調査を行ったが、上越市も民生委員・児童委員の協力を得て実施できないものか。

井部委員：第1回の会議でも出されたことであるが、難しいと思う。この先役員会も予定されているので、その場で話していきたいと思う。

「居場所」についてだが、若者だけではなくて、子どもから年寄りまで同居できる場としていったらいいのではないかと思う。

藤井委員：今の発言のように、子どもから年寄りまでが集う「居場所」ということになると、「居場所」のニュアンスが違ってくるように思うが、事務局はどう考えるか。

事務局：育成センターが構想する「居場所」の考え方は、将来ひきこもりになることを防ぎ、自立に向けて動き出せるようにするために若者を支援する方向である。従って、義務教育終了後の早い時期での支援を考えている。しかし、体験活動へお年寄りの力を借りることは考えている。

藤井委員：支援を有効に進める意味で、行政内での情報の共有が進んでいない。三条市のように、支援台帳のようなものを上越市もつくる必要があるのではないか。

事務局：三条市では、相談から支援を受ける際、支援の登録制をすることになっていて、被支援者が署名するようになっている。登録書には情報共有を承諾する項目もあって、登録者の情報は福祉部門、教育委員会で共有できるようになっている。その他の支援者と共有するためには、新たに被支援者の承諾が必要となっているようだ。上越市での支援事業を進めていく上でも大変参考になると考える。

### (3) 情報交換（公開）

※各委員からの情報提供及び青少年健全育成センター事業についての意見等を求めた。

二ノ宮委員：先日、不登校に関する研修会に参加した折、大学教授と話す機会があった。不登校生徒に対する認識が様々であることを感じた。

(4) その他

事務局：第3回の会議は、2月15日（木）に開催する予定である。今年度の運営の総括と30年度の方針等の協議となる。事前に資料を配付するので事前検討をお願いする。

9 問合せ先

上越市青少年健全育成センター TEL：025-544-4690

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。